

様似郷土館だより

— 2024年 8月号 Vol. 5 —

編集・発行：様似郷土館

〒058-0024 北海道様似郡様似町会所町1番地／TEL 0146-36-3335／Mail samanikyoudokan@future.ocn.ne.jp

7月に入ると夜のライトにもクワガタムシが集まり始めました。7月20日には北大の昆虫の研究室から後輩3名が来館し、幌満峡でのライトトラップを夜間実施しました。ライトには様々な昆虫が飛来し、多数のアリヅカムシやイッカク等の今まで出会う機会の少なかった昆虫も採集できました。川沿いのためヘビトンボも飛来し、北海道の夏らしくなってきました！

今月はカンカン講座で昆虫標本教室を実施します。自宅で飼育していて死んでしまった虫、夏休みに野外で捕まえた虫を持ち込んでの参加も歓迎いたします。本格的な昆虫標本からジオラマ標本まで楽しみながら作成しましょう！夏休み最後の思い出作りにご参加ください♪(榎本尊)



カンカン講座 7月【報告】

7月27日(土)にアポイ岳ジオパークビジターセンターでブラアポイが開催されました。参加者とともにキャンプ場周辺のキノコ、植物、昆虫を観察しました。キノコの見分け方や特徴を学び、独特な香りなどを楽しみました。カブトムシの香りのするキノコもありました(鼻の悪い私には無臭でした 笑)。ブラアポイは定期的にビジターセンターで実施中です。詳しくはHPをご確認ください。



昆虫紹介 「クロモンイッカク」

一本の胸角をもつイッカクの一種。4.5～6mm。体色には変異があります。海岸、河原、樹葉上で見られ、写真はライトトラップに飛来した個体を採取しました。日中の海岸や河川砂地での篩採集でも発見可能です。真上から見た本種の外見や動きはゴミムシのようですが、横から見ると発達した胸角が特徴的です。似た種類でクロスジイッカクもあります。



カンカン講座【予告】

標本教室 -基礎から学ぶ昆虫標本づくり-

【日 時】 8月17日(土) 10:00～12:00

【場 所】 様似町中央公民館小ホール

【申 込】 様似郷土館まで(0146-36-3335)

【期 限】 8月16日まで

【備 考】 盆踊りのため公民館前駐車場利用不可

【参加料】 無料

【内 容】 昆虫の標本づくりに挑戦してみましょう♪

2024年8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
午後休館	休館日					
11	12	13	14	15	16	17
山の日	振替休日	休館日				
18	19	20	21	22	23	24
	休館日					
25	26	27	28	29	30	31
	休館日					

10:00～16:30 開館 入館無料

展示解説、団体見学、郷土館資料の体験会等も実施しておりますので、希望者は様似郷土館へお問い合わせください。

「北海道大学の福澤先生と学ぶ 川の生き物調査&果物電池！？づくり」

【月 日】 6月29日(土)

【場 所】 生涯スポーツ研修センター

【講 師】 福澤 加里部氏(北大フィールド科学センター 准教授)

【参加者】 12名(小学生6名)

【内 容】 様似川での生き物調査ではエビ、魚、カニ、水生昆虫を発見しました。石の裏から見つけた魚の卵が孵化する瞬間にも立ち会えました。町内の3つの河川で採取した水进行分析するとアポイ岳山麓の川では数値が異なっていました。昼食後は炭や果物を使った電池を作成し、生徒が協力して発光ダイオードを光らせたり、オルゴールを鳴らしました。



第62回北海道博物館大会

【参加報告】

【月日】 7月11日(木)～12日(金)

【場所】 函館市民会館

【内容】 函館で開催された北海道博物館大会に参加してきました。大会では資料の収集と管理に関する講演があり、当館での資料の取扱いにも学んだことを活かしていきたいです。大会ではポスター発表を実施しました。「日本産貝食性オサムシにおける捕食戦略と陸産貝類の防御法」と題し、大学での私の研究内容のカタツムリ食のオサムシの形態と捕食法の関係性や、カタツムリのエピフラム(冬蓋)による防御事例を紹介しました。2日目のエクスカージョンでは市内の2つの博物館を訪問し、展示や収蔵庫を見学しました。博物館の集まりでは色々な分野の学芸員が集まっており、楽しい話も聞くことが出来ました♪



ふれあい少年少女キャンプ大会

【参加報告】

【月日】 7月13日(土)

【場所】 様似ダムキャンプ場

【内容】 ふれあいキャンプの中で昆虫の採集会を実施しました。参加した小学生は川遊びに夢中でしたが、後半でキャンプ場周辺のチョウ、トンボ、バッタを採集しました。色彩が変異したピンク色のバッタも1頭発見しました。8月8日(木)にはえりも町のキャンプライベントでも昆虫観察会の講師を実施します。



土器調査

【調査報告】

【月日】 7月21日(日)、22日(月)

【場所】 様似郷土館

【人物】 澤井 玄(土器の研究者)

【内容】 札幌市から澤井様がご来館し、様似郷土館の土器の調査を実施しました。町内では縄文、続縄文、擦文時代の土器が発見されており、今回は擦文土器の調査でした。縄文は縄目の模様が特徴の土器であるのに対して、擦文は木のヘリでつけたような 溝の無い真っすぐな線が入るのが特徴です。日高地域では現在までに擦文時代の土器調査があまりされていませんでした。収蔵庫の全ての土器を確認し、調査対象の擦文土器の撮影、拓本をしました。



←擦文土器
:縄目がない